

配布先

議 事 録 ①	課長	課員	作成	発行	番 号	No. 1 / 5
					年 月 日	2021年12月24日
					部 署	鯖江市 総務部 総合交通課

日時	'2021年12月24日(金曜日)	時 分 時 分 14:00 ~ 16:00	会議時間	時間 分 2時間00分
----	-------------------	--------------------------	------	----------------

会議名	令和3年度第4回 鯖江市地域公共交通活性化協議会	場 所	鯖江市役所4階 全員協議会室
-----	-----------------------------	-----	-------------------

出席者	別紙(出席者一覧)のとおり (計29名:事務局含む。随行者除く。)	主管部署	鯖江市 総務部 総合交通課
		原紙保管	鯖江市 総務部 総合交通課
		記 録 者	総合交通課 林

項 目	議 事 内 容
-----	---------

1 開会 2 会長挨拶	会長 佐々木市長は別の公務にて欠席のため、事務局 田畑総務部長より挨拶
3 協議・報告 事項	<p>◎協議第1号[鯖江市地域公共交通計画改訂案について【資料No.1・2】 【事務局】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前回の協議会内で委員の方々からご指摘いただいた本計画の変更点について説明。 ⇒P49 利用者一人当たりの公的資金投入額について、つつじバス年間利用者数を17万人に目標値として設定していることから、現況値:平成30年度552円/人、目標値540円/人に修正。 ⇒P74 本計画の実施体制については、幹事会において進捗状況を管理し、協議会に報告するといった文言の修正を行い、従来どおりの運用としていくため、本協議会にて進捗管理をしていく旨の記載に修正。 ・令和3年12月8日(火)~17日(金)までの10日間、計画案のパブリックコメントを実施した。計3名から6件のご意見をいただいた。 ⇒各ご意見についての鯖江市の考え方を資料No.1をもとに説明。 パブリックコメントの公表については、市のホームページにて1ヶ月公表していく。 地域公共交通計画については、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律第5条第11項に基づき、概要版とともに関係の省庁に送付する。 <p>川上座長 → 改めてとなるが今回策定する計画について主な今回の改訂ポイントはどこになるか。</p> <p>(回答)事務局 → 前回再編時には循環線および各地区の支線に加え幹線を追加、また朝の通学なども加味し、ダイヤを組んだが要素を盛り込みすぎて、利用者が減少という結果になった。今回の計画では、とにかく分かりやすい路線・ダイヤの設定を念頭に置き、循環線をパターンダイヤ化し、JR鯖江駅および神明駅にて各地区の支線から乗り継ぎがスムーズに行われるように調整を行った。高年大学への乗り入れについては利用者数が少なかったことから、スクールバスでの対応を行うことで路線の整理を行った。また、路線バスや電車との接続についても可能な限り配慮した形を取った。高齢者の方々の足となるようなダイヤ設定にするといった部分を最も重点を置いて考えた。</p>

項 目	議 事 内 容
3 協議・報告 事項	<p>◎協議第2号[鯖江市地域公共交通利便増進実施計画案について]【資料No.3】</p> <p>【事務局】</p> <ul style="list-style-type: none"> 鯖江市地域公共交通利便増進実施計画案について、資料No.3を用いて、各路線の再編内容のポイントおよび今後取り組んでいく事業内容についての説明の実施。(詳細については別途資料No.3を参照) <p>①福井高専 代理出席 新谷氏</p> <p>→ 計画案P22にてバス停表示看板のデザイン更新とあり、レッサーパンダのキャラクターを活用とあるが、市の花であるつつじも入れてもよいかと思う。 また、このデザイン案についてはどこが主体となって決めていくのか。</p> <p>(回答)事務局</p> <p>→ 基本的には市が考えていくことになるが、デザインの内容については、どのように募集していくのかなど柔軟に考えていく。現在のつつじバスのラッピングについてもデザイン科の学生にお願いし完成したものである。今の段階ではまだどのように募集していくかは決まっていないが、鯖江市をアピール出来るようなデザインにしたいと考えている。</p> <p>②福井運輸支局 神戸委員</p> <p>→ 計画案P22にあるように1日フリー切符の導入検討については是非検討を行っていただきたい。確認であるが、定期券などの設定は現時点であるか。 また、運賃については100円で据え置きとのことであるが、路線距離が長い路線などもあるので、今後アンケートなどを取る機会もあると思うので、利用者負担の部分についても聞いて運賃についても検討していただけたらと思う。</p> <p>(回答)事務局</p> <p>→ 定期券については、4,000円/90日と8,000円/180日の2種類を設定している。また、その他にもお得な制度が現在あるが、それらの継続についても今後庁内ワーキングを通して他課に協力をお願いしていくところである。1日フリー切符についても、他市町を参考にしながら導入に向けて検討を進めてまいりたい。運賃については、バスの持続可能性および利用者の方々からの御意見なども参考にしながら、受益者負担の線引きをどこに設定するかも今後検討はしていないといけないとは考えているところである。</p> <p>川上座長</p> <p>→ 現時点での有料利用者と無料利用者の割合などは分かるか。</p> <p>(回答)事務局</p> <p>→ 現時点での割合は有料利用者が39%、無料利用者が61%の内訳となっている。</p> <p>川上座長</p> <p>→ 無料の利用者が多く占めていることから、福祉的な面が強く出ているところである。100円から200円にすることは現在の有料利用者の方々にとってもハードルが高いと思うので、この部分は慎重に検討を行っていただきたい。</p>

項 目	議 事 内 容
3 協議・報告 事項	<p>③ つつじ株式会社 清水委員 → 今回の計画では各支線から循環線への乗継ぎに非常に力を入れた再編の中身になっている。非常に便利になる一方、道路状況等でバスに遅れが出た際に接続が出来ない可能性もはらんでいる。その際に利用者からの苦情が出てくるのが懸念点としてある。</p> <p>(回答)事務局 → ハプニング等でバスが遅れることはどうしてもあると思う。現在と同様、安全第一での走行をお願いしたい。利用者の方々へはバスの性質上、そのような事態が起きることもあるということも理解していただけるように今後丁寧な説明を行い、理解を求めてまいりたい。</p> <p>川上座長 → その他何か御意見などありますでしょうか。 ないようでありますので、協議事項第1号および第2号について承認いただける委員の皆様は挙手をお願いいたします。</p> <p>～委員多数挙手～</p> <p>→ 委員の皆様多数承認とのことで協議第1号および第2号について協議が調ったとします。</p> <p>◎協議第3号[令和3年度鯖江市地域公共交通確保維持改善事業に関する自己評価の報告案について]【資料No.4・5】</p> <p>【事務局】 ・令和3年度鯖江市地域公共交通確保維持改善事業に関する自己評価の報告案について、資料No.5を用いて、令和3年度の主な取り組み事項等について説明の実施。(詳細については別途資料No.5を参照)</p> <p>①川上座長 → 資料No.5のP6にて鯖江市公式LINEを活用して冬季通学便の周知を行ったとあるが、令和4年度つつじバスダイヤ改正の内容の周知についても同様に力を入れて行ってほしい。活用できるものはどんどん活用して変更したダイヤの内容を周知していただけたらと思う。</p> <p>②福井運輸支局 神戸委員 → 来年度行うダイヤ改正については大幅な変更であると感じている。出前講座やSNSを活用してダイヤ改正の内容についてはしっかり事前の周知を行っていただくよう、お願いしたいところである。今年については翌2月に実施される第3者評価委員会の発表に鯖江市はあたっていないが、福井県については2月18日の午前中に他市町の発表などが行われることが決定したところである。日程が近づいたら当日のリンクなどをお送りするので、リモートでの会議とはなるが他市町の取組みについてもご確認いただければと思う。</p>

項 目	議 事 内 容
3 協議・報告 事項	<p>川上座長 → その他何か御意見などありますでしょうか。 ないようでありますので、協議事項第3号について承認いただける委員の皆様は挙手をお願いいたします。</p> <p>～委員多数挙手～</p> <p>→ 委員の皆様多数承認とのことで協議第3号について協議が調ったとします。 それでは事務局の方で、自己評価資料の提出など手続きを進めていただきますようお願いいたします。</p> <p>◎報告第1号[自家用有償旅客運送のアンケート結果の概要について]【資料No.6・7】</p> <p>【地域公共交通鯖江 弓部氏】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前回の協議会にて報告させていただいたとおり、河和田地区内の各施設にポスターの掲示を行った。そのポスターを見たという方から2名ほど会員登録をしたいとの連絡があった。まだまだ周知が十分に行えていないと痛感したところであり、サービスの周知について今後も力を入れて取り組んで参りたい。 ・河和田地区の方々から子供の塾や部活の帰りにも対応して欲しいという声がある。既存ドライバーへの協力依頼を行い、対応できる体制は整えることが出来ている。現状としては少しずつスモールスタートをしていくことを運輸局殿と鯖江市殿に御相談しながら進めているところである。 ・利用者アンケートについても実施を行った。(結果については資料No.7を参照) 有償期間に入り6ヵ月が経過したが利用者については無償期間6ヵ月半に対して約6割となっている。河和田地区内の利用についても住民の方々の健康の具合によっては徒歩で移動している方々についてもちょいボラ交通が対応出来るところだと考えている。運行の時間帯や日数の拡大も期待として含まれているアンケートの結果になっているため、関係各所と連携しながら対応できる部分は対応していきたい。 ・移動選択肢が増えたことによる外出等の機会創出にはまだ至っていないと切れないため、今後も利用へのイメージを提供し続けていかなければいけないと感じている。 <p>川上座長 → 河和田地区内の移動と地区外の移動の割合について現状の利用割合はどのような比率になっているか。</p> <p>(回答)弓部氏 → 河和田地区内の移動が4割、地区外への移動が6割となっている。</p> <p>川上座長 → 河和田地区内の移動ニーズがどれくらいあるかを今後見定めていかないといけない。どの程度のサービスで料金設定についてもどうするかを今回のアンケート結果を基に考えていく必要はある。ちょいボラ交通の取組みは面白く興味深い取組みであると感じてはいるので、利用の促進について今後どのようなアプローチをしかけていくかが課題になる。</p>

項 目	議 事 内 容
4 閉会	<p>川上座長 → 以上、その他会議全体を通して結構ですので何か御意見などありますでしょうか。ないようでありますので、以上を持って令和3年度第3回鯖江市地域公共交通活性化協議会を閉会いたします。</p>